

工

壬午五月

右第像

又第像

受

馬

公

公

右第像

又第像

第像

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

天保五年四月

右京様

沼田郡

又五郎様 御小休所之儀御尋ニ付御答書附

八木村

於加代様

沼田郡

覚

八木村

右京様

又五郎様

於加代様

都而是迄川上辺江被為成

御座候節御小休所ニ相成候分、当村ニ而も矢張御小休所ニ

つかえ

相成御差問、無之分可申出、肩被仰付、奉畏、則左ニ

申上候

御小休所

於富様

去巳八月廿八日

当村田尾

右京様

当午三月廿七日

木藁屋

万之助所

又五郎様

当午四月朔日

御小休被為仰附、乍去り至、而手狭ニ而誠ニ乍ケ成

右之通主御座候得共、右万之助居宅之儀も至、而手狭ニ而

此後被為成御座候、而も御差支之儀ハ無御坐候様奉存候

誠ニケ成主御小休御消世被為成候儀と被相考、於

私共も甚以奉恐入候儀ニ奉存候、右御尋ニ付此段

書付を以申上候、已上以上

午

庄屋

四月

甚右衛門

庄屋格与頭

与頭

忠左衛門

六兵衛

組合割庄屋

文左衛門殿

右京様 第九代藩主浅野重盛三男長懋（ながとし）
又五郎様 第七代藩主浅野春賢一男長駿
於加代様 第七代藩主浅野春賢娘浅野長懋二女
於富様 浅野長懋二女